

令和2年3月18日

意見発表

谷口委員

公明党として意見発表を行います。2点申し上げます。

まず、かながわプラごみゼロ宣言アクションプログラム(案)について申し上げます。

プログラム(案)には、使い捨てのプラ、いわゆるワンウェイプラの削減や、プラごみの再生利用の推進などが掲載されており、それ自体は、当然、進めていかなければならないことですが、人工芝や農業用マイクロカプセルなど、非意図的に環境中に排出されてしまうプラスチックへの対策も重要です。今後は、そうした非意図的に排出されるプラごみへの取組についても、対応をしっかりと検討して進めるよう要望いたします。

次に、かながわ気候非常事態宣言について申し上げます。

地球温暖化を食い止め、持続可能な社会とするためには、脱炭素社会の実現が必要であり、県として、省エネ対策などにこれまで以上に取り組むとともに、国に対しては、イノベーションの創出を積極的に促し、新たな二酸化炭素削減技術が確立した際には、その普及啓発に努めるなど、2050年の脱炭素社会の実現に向けて全力で取り組むよう要望いたします。また、今後、神奈川県地球温暖化対策計画の改定の際には、2050年の脱炭素社会の実現に向けた道筋を、ぜひ計画に反映させるよう求めておきます。

以上、意見、要望を申し上げ、当常任委員会に付託された諸議案に賛成し、意見発表を終わります。